

1. 取得可能学位

(1) 博士前期課程 . . . 修士 (理工学)

(2) 博士後期課程 . . . 博士 (理工学)

2. 修了要件

(1) 博士前期課程

博士前期課程の修了要件は、次に定める各科目群の単位数を合計 30 単位以上取得し、学位 (修士) の審査に合格することをもって修了とします。

標準修業年限は 2 年です。4 年を超えて在学することはできません。休学期間は在学期間から除かれます。

① グローバルサイエンス科目群

2 科目以上を選択し、3 単位以上を取得する。

②アントレプレナー科目群

1 科目以上を選択し、2 単位以上を取得する。

③ 専門科目群

どちらかのコース 3 科目以上を選択し、合計 6 単位以上を取得する。

④ 実験実習科目群

DX コースは 1 科目選択し、2 単位を取得する (GX コースは選択科目とする)。

⑤ 理工学研究科目群 (必修)

全 6 科目、合計 15 単位を取得する。

(2) 博士後期課程

博士後期課程は、学位 (博士) 審査に合格することをもって修了とします。

標準修業年限は 3 年です。6 年を超えて在学することはできません。休学期間は在学期間から除かれます。

3. 大学院における授業科目・単位数・修了要件

※隔年開講の科目もあるので、履修登録の際には注意してください。

※北海道異分野連携教育事業教育プログラムは別途ポータルサイトで案内します。

〈博士前期課程〉

科目群	科目名	単位数	修了要件
【グローバルサイエンス科目】	English Presentation Skill	2	選択必修科目
	English for Scientists and Engineers	2	2 科目 3 単位以上
	Math and Science in English	2	
	Global College	1	
【アントレプレナー科目】	技術経営特論	2	選択必修科目
	産業財産権特論	2	1 科目 2 単位以上
【専門科目】 GX コース DX コース	物質構造解析特論	2	選択必修科目 どちらかのコースから 3 科目 6 単位以上
	物性物理学特論	2	
	高分子物性特論	2	
	先端無機化学特論	2	
	光物性特論	2	
	生命情報特論	2	
	バイオテクノロジー特論	2	
	データ活用特論 ※	2	
	シミュレーション工学特論	2	
	情報伝送特論	2	
	ソフトウェア理論特論	2	
	情報技術応用特論	2	
	機械学習特論	2	
	人間工学特論	2	
	電機情報工学特論	2	
	画像工学特論	2	
	先端集積回路特論	2	
	エレクトロニクス特論	2	
	量子エレクトロニクス特論	2	
	データ活用特論 ※	2	
			※コース共通科目
【実験実習科目】	DX プロジェクト	2	1 科目 2 単位 DX コースは必修 GX コースは選択
【理工学研究科目】	理工学特別演習Ⅰ	2	必修科目
	理工学特別演習Ⅱ	2	6 科目 15 単位
	理工学特別演習Ⅲ	2	
	理工学特別研究Ⅰ	3	
	理工学特別研究Ⅱ	3	
	理工学特別研究Ⅲ	3	

〈博士後期課程〉

科目名	修了要件
理工学特定研究（研究指導）	学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること

4. CAP制（キャップ制）・・・履修単位数の上限設定

単位取得に必要な学習時間の確保のため、一学期に履修登録できる総単位数に上限を設定しています。

●履修上限単位・・・理工学研究科目、他大学院等で開講される科目を除いて各学期16単位

5. 成績について

成績評価は、「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」、「欠席」、「認定」があります。

評価	点 数	基準	合 否
秀 (S)	100 ～ 90 点	到達目標を十分に達成し、内容が特に優れている	合 格
優 (A)	89 ～ 80 点	到達目標を十分に達成し、内容が優れている	
良 (B)	79 ～ 70 点	到達目標を概ね達成している	
可 (C)	69 ～ 60 点	到達目標を最低限度達成している	
不可 (D)	59 ～ 0 点	到達目標を達成していない	不 合 格
欠席 (E)	—	評価不能（成績表に記録されます）	
認定	—		

※点数には、試験の点数だけでなく、授業への参加度やレポート提出などの点数も含まれることがあります。

※点数の付け方は、科目によって異なりますので注意してください。

6. GPA（Grade Point Average）

学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値により表したものです。具体的な算出方法については次のとおりです。

【GPA計算方法】

GPAを算出する際は、成績評価を受けた修了要件に含まれる全ての科目を対象として算出します。（他大学院等で取得した単位を認定した場合の単位は、GPAに算入しません。）

（1）成績に付与されるGP

成績評価	秀	優	良	可	不可	未受験 欠席	認定
点 数	100～90	89～80	79～70	69～60	59 以下	—	—
G P (Grade Point)	4. 0	3. 0	2. 0	1. 0	0	0	対象外

（2）GPA計算式

不可には未受験欠席も含む ↓	
$\frac{(4.0 \times \text{秀の単位数}) + (3.0 \times \text{優の単位数}) + (2.0 \times \text{良の単位数}) + (1.0 \times \text{可の単位数}) + (0 \times \text{不可の単位数})}{\text{履修単位数}}$	
※成績が「不可」又は「未受験欠席」の科目は、GPは0となりますが分母の「履修単位数」に当該科目の単位は含まれます。また、小数点第2位以下を四捨五入して表記します。	

(3) 学期GPAと通算GPA

- 学期GPA …… その学期で評価を受けた科目により算出したGPA
- 通算GPA …… 各学期に評価を受けた科目の総和により算出したGPA

7. 履修中止制度

履修中止制度とは、一定期間履修し「授業内容が期待していたものと違う」・「授業を理解するための知識が無かった」等の理由により、学期の途中で履修を中止することを認める制度です。履修の中止を認めた科目はGPAに算入しませんので、履修を継続する科目の学修に専念してください。

8. GPAの成績証明書への記載

成績証明書には、GPAを記載しません。但し、進学・就職でGPAの記載が必要であり、本人が希望する場合は『通算GPA』のみを記載することができます。

また、『学期GPA』並びに『通算GPA』については各学期初めに通知します。